



PAT. 4095608

Mg(マグネシウム)クラッチカバーキット 取扱説明書

商品番号：02-01-510BR(ブラウン)

適応車種

車体番号

Ape50	AC16-1000001~
Ape50(FI)	AC16 1600001~
Ape50(FI Type D)	AC18 1000001~
Ape100	HC07-1000001~
Ape100 Type D	HC13 1000001~
XR50Motard	AD14-1000001~
XR100Motard	HD13-1000001~

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

当製品は、上記適応車種、車体番号の車両専用部品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

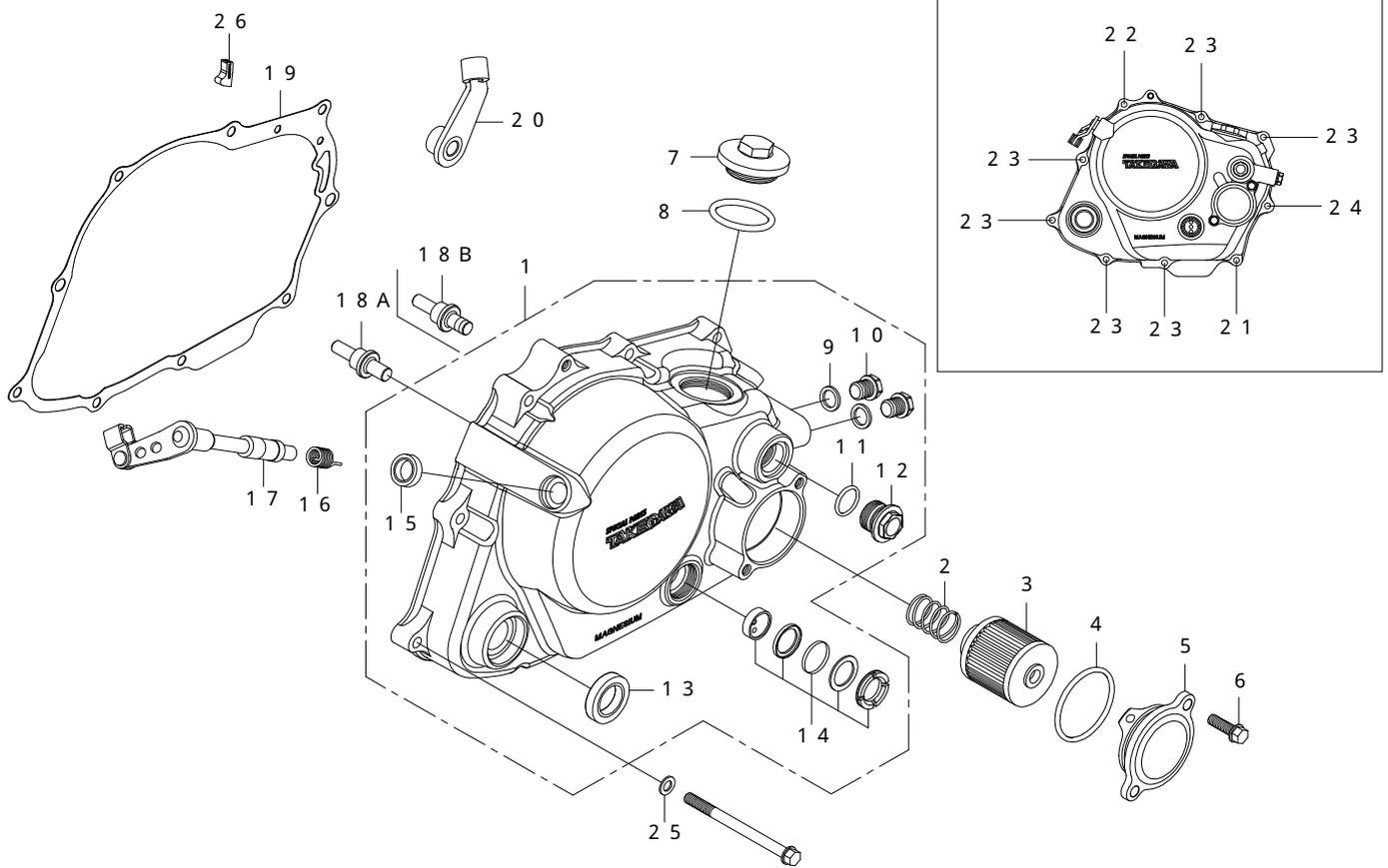
注意 下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)

警告 下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

~ 商 品 内 容 ~



番号	部 品 名	個数	補修部品番号	入数
1	Mg-R. クラックケースカバー ASSY.	1	11330 GEY T00	1
2	オイルフィルタースプリング	1	15413 181 T00	1
3	オイルフィルターエレメント	1	00 02 0027	1
4	Oリング 40MM	1	00 02 0040	1
5	オイルフィルターカバー	1	15412 GEF T10	1
6	フランジボルト 6×16	2	00 00 0174	6
7	ホールキャップ	1	12361 GEF T00	1
8	Oリング 30MM	1	00 01 0034	4
9	シーリングワッシャ 10MM	2	00 07 0010	10
10	オイルプラグボルト	2	90145 GEY T00	1
11	Oリング 15MM	1	00 00 0186	4
12	サーモスタットホールキャップ	1	15411 GEF T00	1
13	オイルシール 18×29×7	1	020 01 0017	1
14	オイルポットウインドウセット	1	00 02 0031	1
15	オイルシール 12×18×5	1	00 02 0093	1
16	クラッチレバースプリング	1	22815 GEY T00	1
17	クラッチレバー COMP.	1	22810 GEY T01	1
18 A	クラッチリフターピン (5速用)	1	22366 GEY T01	1
18 B	クラッチリフターピン (6速用)	1	22366 ARC T00	1
19	R. クラックケースカバーガasket	1	00 01 0097	1
20	クラッチケーブルレシーバー	1	50135 GN1 T00	1
21	フランジボルト 6×35	1	00 00 0180	4
22	フランジボルト 6×40	1	00 00 0178	4
23	フランジボルト 6×80	6	BW 00 0082	3
24	フランジボルト 6×100	1	BW 00 0083	3
25	アルミワッシャ 6MM	10	00 02 0095	20
26	ラバーセパレーター	1	00 02 0114	1

補修部品は必ず補修部品品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。
 あらかじめご了承下さい。
 尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

特 徴

クラッチカバー本体に、ペーパータイプのエレメントを使用したオイルフィルターを装備。
 オプションで、形状記憶合金スプリングを使用したサーモスタットの取り付けが可能。(特許取得)
 クラッチカバー及び、オイルフィルターカバーはダイカスト製で、クラッチカバーの材質に比重 1.7 と軽量のマグネシウム合金を使用。
 表面は防錆処理後、ブラウンリキッドペイントを実施。
 カバー本体より直接オイルクーラーへのオイル取り出しが可能。
 オイル点検窓はモンキー系で定評ある、耐久性の高いガラスタイプを使用。
 大型のオイルフィラキャップを装備。
 クラッチ操作機構をカムとアジャスティングレバーを使用しない、リフターピンによるダイレクト機構を採用。

使用上のご注意

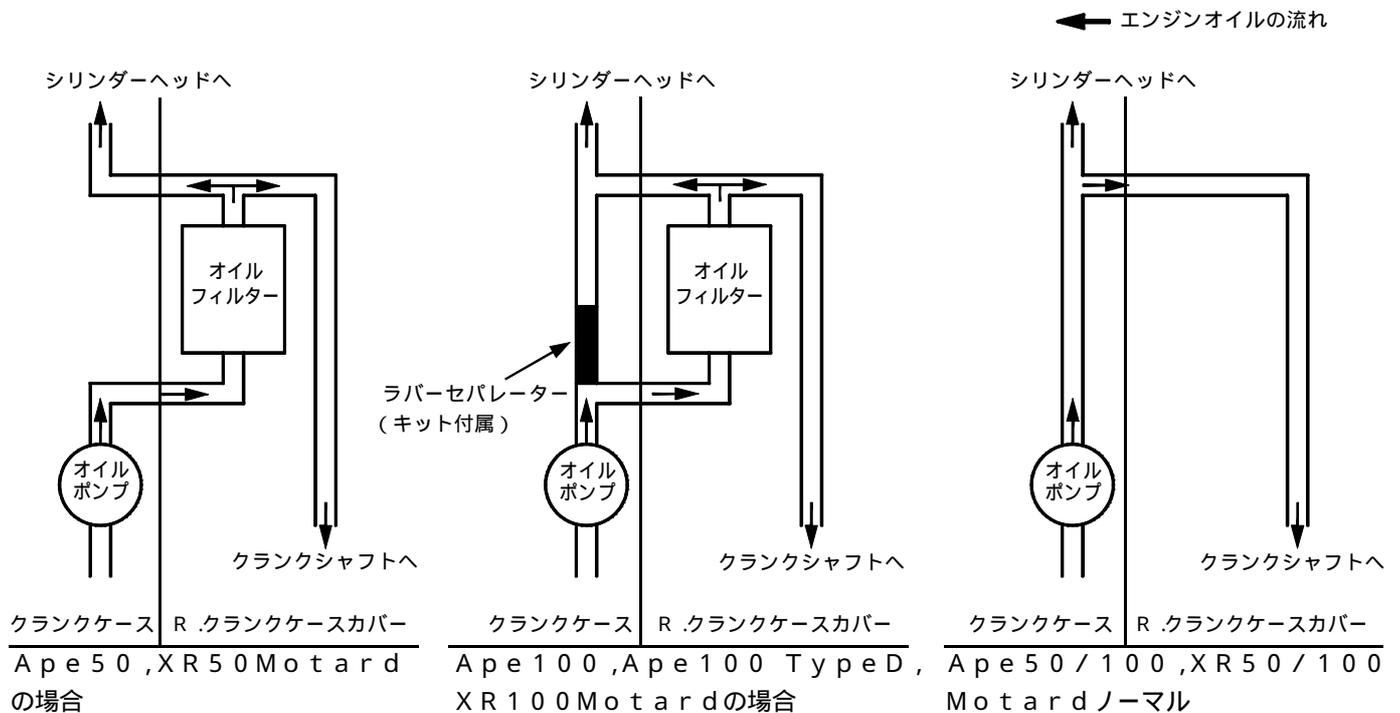
オイルフィルターカバー部に取り付け出来るオイルクーラーユニットは、寸法が異なるため使用出来ません。オイルラインは、所定の位置でのみ使用可能です。
 従来のオイルクーラーホースは、寸法が異なるため使用出来ません。ダイカストカバー専用品をご使用下さい。
 シリンダーにオイルホースを取り付けるオイルクーラーキットをご使用の場合は、絶対にサーモユニットやオイルホールプラグを取り付けしないで下さい。
 オイル通路が遮断されエンジンが破損する可能性があります。
 サーモユニット、オイルクーラー等に付いては、各製品の取扱説明書をご確認下さい。
 作業は各車種用 HONDA サービスマニュアル、Ape 50 / 100、XR 50 / 100 モーター用を必ず参照し確実に行って下さい。

～ オイルラインに付いて～

Ape 50, XR 50 Motard に使用する場合、エンジンオイルは全量オイルフィルターを通り、シリンダーヘッドとクランクシャフトに供給されます。

Ape 100, Ape 100 Type D, XR 100 Motard に使用する場合、Ape 50, XR 50 Motard とクランクケースオイルライン形状が異なる為、キット付属のラバーセパレーターを取り付ける事により、Ape 50, XR 50 Motard と同様にエンジンオイルは全量オイルフィルターを通り、シリンダーヘッドとクランクシャフトに供給する様、変更出来ます。

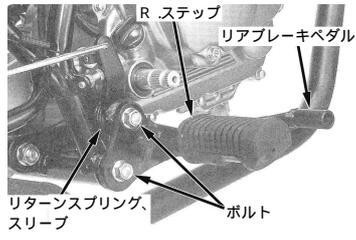
オイルライン図



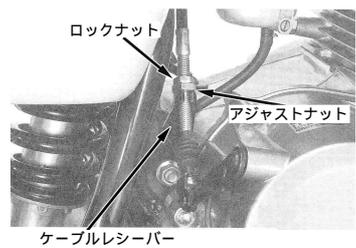
～ 取 り 付 け 要 領 ～

1. メンテナンススタンドを使用し、車両を安定させます。
2. 受け皿を用意します。ドレンボルトを取り外してエンジンオイルを抜き取ります。

3. キックスターアームのボルトを外し、スターアームを取り外します。
R ステップブラケットのボルト2本を外し、ブラケット、リアブレーキペダル、スリーブ、スプリングをそれぞれ取り外します。

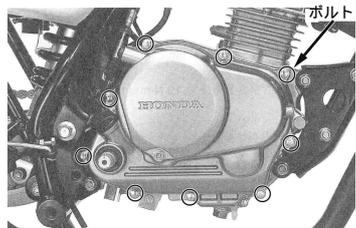


4. クラッチケーブルの接続を外します。
上側エンジンマウントナットを取り外し、マウントボルトを引き抜いてクラッチケーブルレシーバーを取り外します。
付属のクラッチケーブルレシーバーを取り付け、エンジンマウントナットを指定トルクで締め付けます。

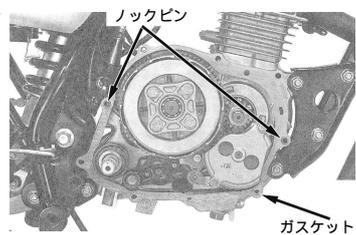


**トルク：44 N・m
(4.5 kgf・m)**

5. R クランクケースカバーのボルトを外し、R カバーを取り外します。

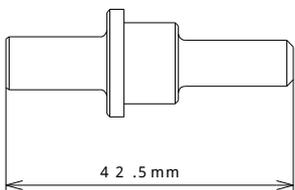


6. ノックピン2本と、ガスケットを取り外します。

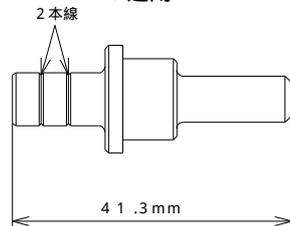


7. クラッチリフターピンを取り外し、キット内のリフターピンに交換し、クラッチリフタープレートにベアリングに取り付けます。
クラッチリフターピンはミッションの種類により、2種類あります。

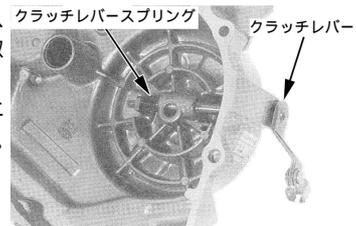
5 速用



6 速用



8. Mgカバーにクラッチレバースプリング、クラッチレバーを取り付けます。
クラッチレバーシャフト部にエンジンオイルを塗布して下さい。



9. オイルフィルタースクリーンを取り外して清掃し、清掃後クランクケースの溝に確実に取り付けます。

(ラバーセパレーターの取り付け)

X R 100 Motard, Ape 100, Ape 100 Type Dの場合

R クランクケースにあるオイル溝にセパレーターを写真の位置に TAKEGAWA 文字が見える方向にし、ラバーの突起がケースのへこみ部分に合う様に取り付けます。
ラバーセパレーターはハンマー等を使用せずに指で押し込んで下さい。
クラッチカバー取り付け前にクラッチカバーガスケットを取り付け上側の穴部にラバーセパレーターで、穴がふさがれていない事を確認してからクラッチカバーを取り付けて下さい。



10. ケース合わせ面を清掃し、ロックピンと新品のガスケットを取り付け、Mgカバーを取り付けます。
キックスタータースピンドル部のオイルシールを損傷させないように注意して下さい。

11. 付属のボルトにアルミワッシャを通してカバーに取り付け、対角線上に数回に分けて指定トルクで締め付けます。

トルク：7 N・m (0.7 kgf・m)

12. オイルフィルタースプリングをR クランクケースカバーオイルフィルター部内の突起部にセットします。
オイルフィルターカバー突起部にオイルフィルターを差し込みます。
オイルフィルターカバーのOリングにエンジンオイルを塗布し、Oリングの噛み込みに注意してR クランクケースカバーに取り付けます。

フランジボルトを取り付け指定トルクで締め付けます。

トルク：9 N・m (0.9 kgf・m)

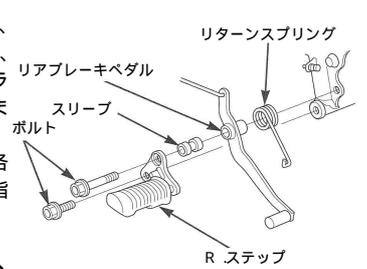
13. クラッチケーブルを接続し、遊びを調整します。

クラッチの遊び：クラッチレバー先端で10～20mm

14. スリーブにグリスを塗布し、ブレーキペダルに取り付けて、スプリングとR ステップブラケットをボルトで仮締めします。
リアブレーキを作動させ、各部をなじませた後ボルトを指定トルクで締め付けます。

トルク：39 N・m

(4.0 kgf・m)



15. キックスターアームを取り付け、ボルトを指定トルクで締め付けます。

トルク：26 N・m (2.7 kgf・m)

16. ドレンボルトを指定トルクで締め付け、エンジンオイルを1000cc注入します。

トルク：25 N・m (2.5 kgf・m)

オイル漏れの無い事を確認して下さい。

オイル窓でのエンジンオイル量の目安

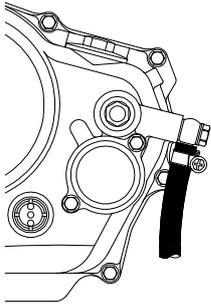
	オイル交換時	0.9 L
	オイルフィルタ交換時	1.0 L
	オーバーホール時	1.1 L

重 要

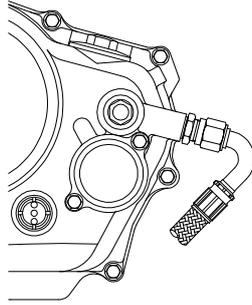
オイルクーラー取り付け

サーモユニットを取り付ける場合

1. サーモユニットを取り付けます。
2. オイルプラグボルト2本を取り外し、使用するホースの種類に適合するアダプターを取り付け、ホースを接続します。
サーモユニット取扱説明書をご確認下さい。
オイルクーラーキット取扱説明書及び、アダプター取扱説明書をご確認下さい。



ラバーホース



アレグリホース

シリンダー側にオイルホースを取り付ける場合

⚠ 注意：クラッチカバーにオイルホースを接続しない場合、サーモユニット又は、オイルホールプラグを絶対に取り付けないで下さい。オイル通路が遮断され、エンジンが破損する可能性があります。

オイルクーラーを取り付けない場合

サーモユニットやオイルホールプラグは絶対に取り付けないで下さい。
又、サーモユニットやオイルホールプラグが取り付けられている場合は、必ず取り外して下さい。

⚠ 注意：サーモユニット又は、オイルホールプラグを取り付けた状態では、オイル通路が遮断され、エンジンが破損する可能性があります。

株式会社 **SPECIAL PARTS** 式川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721 25 1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>

マグネシウム製品の取扱について

マグネシウムの比重（1.7）は、アルミニウムの比重（2.7）に比べ約2/3と軽量です。
マグネシウム合金は、実用金属中最も軽い金属で、アルミニウム合金より比強度が優れ、衝撃吸収性にも優れています。
反面、マグネシウム素材は、化学反応や腐食を起こしやすい性質を持っています。
そのため製品には防錆処理を施し、その後リキッド塗装等の表面処理をしています。

ご注意（重要）

塗装面はボルトの締め付け時や、各部品の取り付け時に塗装が割れたり剥がれたりする場合があります。又、塗装は打痕や飛び石等により損傷する場合があります。取扱にはご注意ください。
ダイカスト製品の特性上、形状による肉厚の違いで、加工面に巣が発生しますが性能上問題はありません。
通常マグネシウム合金の耐久性は、アルミニウム合金に比べ、腐食等により若干低くなります。そのため製品の各部分を良く点検し、クラックや腐食の有無を必ずご確認ください。
マグネシウム製品の加工は一切行わないで下さい。化学反応をしやすい材質のため、切削加工等の切粉に加工熱が加わった場合や、火種を近づけると燃焼します。体積に対して表面積の大きい物（小さい物、細い物）程燃えやすくなります。又、燃焼しているマグネシウムに水をかけると化学反応を助長し大変危険です。

お手入れ方法

表面に汚れが付着した場合は、柔らかい布で拭き取って下さい。汚れが取れにくい場合は、中性洗剤を含ませた布を固く絞って汚れを拭き取り、乾いた布で水分を取り除いて下さい。

安全により永くご使用頂くために下記事項をご遵守下さい

雨天走行や洗車等で水分が付着した場合は、水分を取り除いて下さい。
塗装の割れや剥がれが生じた場合は、速やかにタッチアップペイント等で補修して下さい。
金属部分が削れたり、欠けたりする損傷をうけた場合、直ちに補修又は、新品と交換して下さい。
マグネシウム製品を塗装する場合は、現在の塗装を剥離しないで下さい。防錆処理が剥がれると耐腐食性が著しく低下しますのでご注意ください。
マグネシウム製品に付属の固定ボルト用アルミワッシャは必ず分解ごとに新品と交換して下さい。そのまま使用されますと塗装を傷めます。
又、固定ボルトは必ず付属のフランジボルトをご使用下さい。他のボルトを使用した場合、面圧の関係上塗装を傷める可能性が有ります。
補修用アルミワッシャ 品番：020-01-0001（20枚入り）をお求め下さい。

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川 〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857